

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- [25576] IgA-HEV抗体

### 受託開始日

- 平成23年12月19日(月)

# E型肝炎ウイルス IgA-HEV抗体

E型肝炎ウイルス (HEV) はA型肝炎ウイルスと同様に経口伝播型のウイルスで、主要な感染源は糞便です。

従来は衛生状態があまり良くない赤道周囲にある開発途上国での報告が多い感染症で、先進国ではそれらの流行地を旅行した時に汚染された食物や飲用水などにより感染するものと捉えられていました。

しかし、最近ではHEVは人畜共通感染症であり、輸入されたものではなく、日本国内でのブタやイノシシなどが感染源と考えられるケースも報告されています。

潜伏期間は15～50日と幅があり、発症後は強い黄疸を伴う肝障害症状が認められますが、通常は1ヵ月程度で治癒します。しかし、妊婦が感染すると劇症化する可能性が高くなると考えられています。

本検査はHEVに感染した際に産生されるIgAクラスの抗体を検出するものです。IgA抗体は、通常感染初期に検出されるIgMクラスの抗体とよく相関し、特異性も高く、発症後2～5ヶ月間持続するため、HEVの初感染を診断することが可能であり、またA型肝炎等の他の急性肝炎との判別にも有用です。

また、HEVには現在4種類の遺伝子型が知られており、アジア地域では1型と4型が多いとされ、日本国内では3型及び4型が分離されていますが、本検査はその遺伝子型にかかわらず、抗体の検出が可能です。

## 検査要項

項目コード	25576
検査項目名	IgA-HEV抗体
検体量	血清 0.3mL
保存方法	凍結
検査方法	EIA
基準値	陰性
所要日数	3～9日
検査実施料	210点([D012]感染症免疫学的検査「23」IgA-HE抗体価(定性))*
判断料	144点(免疫学的検査判断料)
定価	3,500円
備考	*IgA-HE抗体価(定性)は、「23」の抗アニサキスIgG・A抗体価に準じて算定する。

## 参考文献

飯野四郎, 他: 医学と薬学 53(4), 461～469, 2005.